

2013年7月23日
株式会社アサツー ディ・ケイ

震災から2年。再生にむかう宮城県南三陸町を撮り続ける写真家、佐藤信一によるシリーズ第3弾。
ひとりでも多くの人に訪れてほしいと願いながら、生まれ故郷の魅力を伝える南三陸ガイドブック。

『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』

株式会社アサツー ディ・ケイ（本社：東京都中央区 代表取締役社長：植野伸一 以下 ADK）は、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町で、震災直後から現地の様子を撮影し続けている佐藤信一さんの写真集『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』を刊行します。

本書は、2011年9月より刊行している写真集シリーズ『南三陸から』の第3弾となります。被災地を訪れる人が少なくなってきている今、ひとりでも多くの人に訪れてほしいと願いながら綴った手紙と写真で、南三陸の魅力を伝えます。被災地の現状を伝えるだけでなく、ガイドブックとして観光誘致の支援になることも目的にしています。

この写真集一冊につき300円を寄付、さらに利益が発生した場合はその全額を南三陸町への支援金として寄付します。

本シリーズ（Vol.1/Vol.2）による現在までの南三陸町への寄付金額は6,867,950円です（2013年7月時点）



<写真集概要>

『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』

著者：佐藤信一

オフィシャルサイト：

<http://www.minamisanriku-kara.com/vol3>

体裁：B5判/96ページ

刊行日：2013年7月

定価：1,500円（税別）

*1冊につき300円を南三陸町に寄付。

発行：ADK 南三陸町復興支援プロジェクト

発売：日本文芸社

Amazon：<http://amazon.jp/dp/4537278714/>



<著者プロフィール>

1966年、宮城県本吉郡南三陸町生まれ。親子2代、南三陸町で写真館「佐良スタジオ」を営んでいたが、2011年3月11日、東日本大震災の津波により自宅及び写真館を失う。「一番苦しいときの写真を残す。この先、何が起きても、みんなが乗り越えられるように」と、唯一持って逃げたカメラで地震直後から失われた街が元通りになるまでの道のりを現在も撮りつづけている。

< 『南三陸から vol.3 2012.3.11～2013.3.11』 収録内容（抜粋） >



【しろうおまつり】



【田東山つつじ】



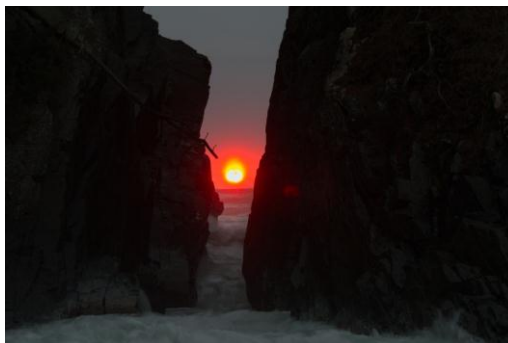
【防災庁舎にかかる虹】



【うに丼】



【いくら丼】



【神割崎】



【観光 MAP】

本写真集に収録されたイメージ・写真をご利用の際、また、著者である佐藤信一さんへの取材等に付きましては、下記の担当までご連絡ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

【報道各位からのお問合せ先】

株式会社アサツー ディ・ケイ 広報室 担当:大内 TEL:03-3547-2003 / E-mail:mskr_prj@adk.jp

<ご参考 : Vol.1 および Vol.2 について>

『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』

東日本大震災で失った物や失った人を、悼みながらも前へ歩もうとする南三陸町の人々。そんな彼らと故郷の姿を 2011.3.11～2011.9.11 の半年間、自らも被災者である佐藤信一さんが撮り続けた写真集です。震災に対する悲しみや怒りを淡々と表現し、同じ被災者であるからこそ撮り得た、よそ行きではない人々の姿の写真が評価され、第 43 回 講談社出版文化賞「写真賞」を受賞いたしました。

『南三陸から vol.2 2011.9.11～2012.3.11』

第 1 弾の続編として、2011.9.11 から、様々な想いを抱えて迎えた 2012.3.11 の追悼式までを記録した写真で綴るフォトレターです。故郷と大切な人々の姿を未来に残す希望の写真集であり、10 年スパンの復興に際し、求められるのは「つづいていくこと」であるという考えのもと、刊行いたしました。

<ご参考 : 第 1 弾『南三陸から 2011.3.11～2011.9.11』写真集収録内容>

